

## 国際スポーツ大会の開催や事前キャンプ 誘致に対する支援等について

九州・山口地域においては、熊本県での2019女子ハンドボール世界選手権大会をはじめ、福岡県、熊本県、大分県の3都市が会場となったラグビーワールドカップ2019（ラグビーW杯）等の国際スポーツ大会が相次いで開催されることとなっている。また、翌年には、世界最大のスポーツ・文化の祭典である2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）が開催されることになっている。

このような中、九州・山口各県では、ラグビーW杯や東京2020大会の事前キャンプの誘致に積極的に取り組んでいる。さらに、東京2020大会の追加種目候補である「野球・ソフトボール」、「サーフィン」競技の本大会会場の誘致を目指した取組も始まっている。

国際スポーツ大会の開催や事前キャンプの誘致を通じて、世界各地から訪れる選手や役員、観客など多くの人々に対して、九州・山口各県の豊かな自然や歴史・文化、食などを発信することができ、さらには海外との都市間交流や国際友好親善関係の構築にも寄与するものである。

また、大会の開催等を契機に海外からの観光客誘致に一層弾みがつき、国が掲げる訪日外国人旅行者数4,000万人の目標達成に貢献するとともに、交流人口の拡大と地域活性化による地方創生に大きな役割を果たすものと期待される。

さらに、これらのことにより、熊本地震による被災地の人々に元気をもたらし、復旧・復興に寄与するものであり、九州・山口各県が震災から復興する姿を世界に大きくアピールできるものである。

国においては、ラグビーW杯や東京2020大会の追加種目の開催を含め、九州・山口地域における国際スポーツ大会の開催に向けた施設整備・改修や事前キャンプの誘致及びホストタウンに関する取組等を積極的に支援するとともに、入国審査の迅速化や標識の多言語対応等、訪日外国人旅行者の受入環境整備を一層充実・強化するよう求める。

平成28年5月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞